

宮城県・仙台市防災局等誘致推進協議会 設立総会／第1回協議会 議事概要

【日時】 令和8年5月26日(火) 16:00～16:30

【場所】 TKP ガーデンシティ PREMIUM 仙台西口6階 ホール 6C

【出席者】 宮城県 伊藤 哲也 副知事

仙台市 郡 和子 市長

宮城県議会 佐々木 幸士 議長

仙台市議会 加藤 けんいち 副議長

国立大学法人 東北大学 富永 悌二 総長

仙台商工会議所 藤崎 三郎助 会頭

一般社団法人 仙台経済同友会 菅原 裕典 代表幹事

【事務局】 仙台市まちづくり政策局長、防災環境都市推進室長、防災環境都市推進担当課長

【次第】

宮城県・仙台市防災局等誘致推進協議会 設立総会

1 開会

2 挨拶

3 議事

宮城県・仙台市防災局等誘致推進協議会規約について

4 閉会

宮城県・仙台市防災局等誘致推進協議会 第1回協議会

1 開会

2 議事

誘致の背景と今後の活動について

3 閉会

宮城県・仙台市防災局等誘致推進協議会 設立総会

1 開会

事務局(防災環境都市推進担当課長)

ただいまから「宮城県・仙台市防災局等誘致推進協議会」設立総会を開会いたします。

開会にあたり、宮城県知事 村井嘉浩様の代理としてご参加いただいております、宮城県副知事 伊藤哲也様よりご挨拶をいただきたいと存じます。

2 挨拶

宮城県 伊藤副知事

副知事の伊藤でございます。宮城県・仙台市防災局等誘致推進協議会設立総会、第1回協議会への出席、誠にありがとうございます。本協議会の設立にあたり、事務局としてご尽力いただいております仙台市のほか、宮城県議会、仙台市議会、東北大学、仙台商工会議所、仙台経済同友会と、産学官民の関係団体の皆様にご参画いただきました。こうして、本日、設立総会を迎えられましたことに改めて深く感謝申し上げます。

現在、国会において防災庁設置法案が審議されており、既に衆議院で可決、順調にいけば、今年中には防災庁本庁が設置される見込みでございます。高市総理からは、平時から民間組織などと顔の見える関係を構築し、産学官民の総力を結集した防災行政を進めるとのご発言がございました。今回、防災局等の誘致に向け、このように産学官の関係者の皆様が一室に会して国と連携していく決意を示すことは、まさに防災庁の理念に沿うものであると考えております。

我が県は、東日本大震災の発災から今日までの15年間、産学官民が一体となって復旧復興に取り組み、多くの経験と教訓を積み重ねてまいりました。特に、世界水準の災害科学に関する研究を進めている東北大

学、そして、東日本大震災という国難の中にあつて、地域経済の継続的な支援に取り組んできた仙台商工会議所及び仙台経済同友会の皆様の知見やノウハウは、他の地域にない本県の大きな強みであると認識しております。それぞれが蓄積した知見を社会全体で共有し、次なる大規模災害への備えとして内外に伝えていくことは、全国各地から多大なご支援をいただいた被災地としての責務であると考えております。本協議会といたしましては、こうした東日本大震災の教訓も踏まえながら、宮城県、仙台市の強みや優位性を広く発信し、防災庁の理念や防災局等と連携した取組に貢献できる地域であることを強く訴え、関係団体の皆様と一丸となつて、誘致に取り組んでまいりたいと考えております。

結びに、本日ご参集の皆様のより一層のお力添えをお願い申し上げますとともに、本協議会の活動が、我が国全体の防災力向上と災害に強い地域社会づくりにつながりますことを祈念申し上げます。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局(防災環境都市推進課長)

ありがとうございました。続きまして、仙台市長の郡和子より、挨拶を申し上げます。

仙台市 郡市長

仙台市長の郡でございます。一言、ご挨拶申し上げます。

この度は、大変ご多忙の中、防災局等誘致推進協議会の設立にご賛同いただきまして、誠にありがとうございます。

防災局等の誘致にあたりましては、これまで宮城県知事、宮城県議会議長、仙台市議会議長とともに国への要望行動を行ってまいりましたが、今回、東北大学、仙台商工会議所、仙台経済同友会のご参画をいただき、大きな誘致活動に取り組むことができるということ、とても心強く思っているところでございます。

東日本大震災を経験した仙台・宮城には、災害対応や復旧復興の過程において得た様々な経験や知見を有しているほか、東北大学災害科学国際研究所をはじめ、多くの研究機関も立地しており、市民の皆様や産学官の多様な主体との連携によって、数多くの防災・減災の取組を進めてまいりました。

また、本市は、国際的な防災指針である「仙台防災枠組」に仙台の名を冠する都市として、その推進に取り組んでおり、来年の秋には、国連防災機関主催のアジア太平洋防災閣僚級会議の開催も予定されるなど、国内外の防災・減災への貢献を積み重ねてきたところでございます。

この地域への防災局等の設置は、国全体の災害対応力の向上のみならず、地域の防災力の更なる強化、人材の育成の推進、さらには関連産業の発展にもつながるものであり、仙台、宮城、ひいては東北全体にとって極めて大きな意義のあるものと捉えております。

防災庁設置法案は今国会で成立が見通されているもので、現在、多くの自治体がこの防災局の誘致に名乗りを上げておられます。しかし、県と仙台市、そして産学一体となつて誘致を進める例は、あまりないものと承知しております。これも大きな強みになるものと確信しているところでございます。

今後、この協議会の皆様方とともに、防災局等の誘致実現に向けた取組を一層加速させてまいりたいと存じますので、ご支援、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

2 議事

宮城県・仙台市防災局等誘致推進協議会規約について

事務局(防災環境都市推進室長)

〈資料1に基づき説明〉

出席者

(異議なし)

3 閉会

事務局(防災環境都市推進担当課長)

規約の承認によりまして、協議会が正式に設立されました。

以上をもちまして、設立総会を終了とし、第1回協議会に移りたいと存じます。

宮城県・仙台市防災局等誘致推進協議会 第1回協議会

1 開会

事務局(防災環境都市推進担当課長)

続きまして、第1回協議会を開催いたします。

議事の進行につきましては、規約第6条第1項に基づき、共同代表である郡仙台市長が議長を務めます。

仙台市 郡市長

規約に従いまして、議長の職を務めさせていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

2 議事

誘致の背景と今後の活動について

仙台市 郡市長

議事「誘致の背景と今後の活動について」につきまして、事務局からご説明願います。

事務局(防災環境都市推進室長)

〈資料 1、2 に基づき説明〉

出席者

(異議なし)

仙台市 郡市長

それでは、要望行動については、知事とともにご相談させていただき、早速、国との日程調整を進め、誘致に取り組んでまいりたいと存じます。

以上をもちまして、予定の議事は全て終了いたします。

皆様方から一言ずつ頂戴できればありがたく存じます。

宮城県 伊藤副知事

本日は、仙台市の事務局とこのように協議会の設立、それから第1回のお話がありましたこと、本当に感謝申し上げます。

誘致につきまして、未曾有の災害を経験した私たちが、国策として防災力の強化を考えている防災局の設置に対して、最大限の関与、協力をして、そして国内・世界への発信力を高めることが、被災後の支援への最大の恩返しになると考えております。改めて産学官の連携を確認し、今後の具体的な誘致活動に向けて取り組みたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

宮城県議会 佐々木議長

これまで宮城県議会といたしましても、防災庁誘致における機運の醸成について行政を動かしたいという旨で、知事に、そして国への意見書を含めて、2度可決をしております。これまでは行政と議会で誘致活動をしておりましたが、これからは東北大学の高い知見と、経済界が一緒になって、さらには民間や県民、市民も巻き込み、この宮城県・仙台市が最もふさわしいと、まさに都市間競争が始まっている状況でございますので、本日このように協議会を設立いたしました。我々も全力で誘致活動を展開していこうと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

仙台市議会 加藤副議長

仙台市議会といたしましても、野田議長を筆頭に、これまで防災庁の地方拠点の誘致に向けて様々な議論を重ね、さらに国への要望等も行ってきました。先ほどお話がありました通り、これまでも仙台市、宮城県、宮城県議会と連携をとり、要望活動を続けてきたわけですが、今日こうして、東北大学、そして仙台商工会議所、仙台経済同友会の経済団体の皆様にもお力をいただけるということで、この協議会の設置がこれからの誘致に向けて大きな力になると思っております。これからも、仙台市議会といたしましても、協議

会の委員の皆様と連携を取らせていただきながら、ともに誘致実現に向けて取り組んでまいりたいと思いますので、引き続きよろしくお願いいたします。

東北大学 富永総長

我々も皆様と同じように、東日本大震災から15年間、全学を挙げて復興に力を注いできたという自負がございます。特に災害科学国際研究所は、研究と実践、そして人材育成という3つの取組を行ってきました。人材育成の面では、環太平洋の多くの大学でAPRUを組織しているのですが、我々はそこでマルチハザード、すなわち災害に関するサマースクールを行っています。北米、南米、アジア、オセアニアの大学が参加していますが、そうした国際ネットワークがあるという点においても、他の候補地に先んじているのではないかと考えています。我々も何とでもご協力いたしますので、ぜひよろしくお願いいたします。

仙台商工会議所 藤崎会頭

2011年の東日本大震災から15年が経過し、日本・東北は地震だけに限らず、様々な自然災害を乗り越えてきました。2011年以降、宮城県内では震度5強以上の地震が14回ございましたし、活火山は東北圏で18ございます。自然災害は人間の力では防ぐことはできません。仙台商工会議所は東日本大震災後に、いかにして元に戻す力を強めるか、特に仙台商工会議所は中小企業が中心でございますので、中小企業の皆様がどうやって早く元に戻せるか、そういうことに尽力してきました。防災・減災に関する知見と経験の積み重ねがございます。様々な産学官のネットワークを蓄積し、防災環境都市として、防災拠点としてふさわしい地であると自負しております。ぜひ協議会の皆様と連携しながら、誘致の実現を目指してまいりたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

仙台経済同友会 菅原代表幹事

産学官の中に仙台経済同友会をお声がけいただき、ありがとうございます。この仙台に誘致するということが、その力の一つになればと思っています。2011年の東日本大震災から、この地域では、産学官の皆様がそれぞれ、様々なテーマで防災に取り組み続けてきた15年だと思っています。大きな震災を経験した結果、防災に対してしっかり取り組んでいかなければいけない、そして、この仙台が発信の地でなければいけないということで、世界で防災＝仙台と言われる状況という話もお聞きしたところであり、ぜひとも仙台に防災局を誘致していきたいと思っています。我が国の防災力の向上のため、この仙台をしっかりと発信の地にしていければ、その一助に我々もなればと思っていますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

仙台市 郡市長

ありがとうございます。皆様方に固い結束の言葉を頂戴いたしました。引き続き、国に対して要望活動を力強く行ってまいりましょう。本当に今日はありがとうございました。

それでは進行を事務局に戻させていただきます。

3 閉会

事務局(防災環境都市推進課長)

以上をもちまして、宮城県・仙台市防災局等誘致推進協議会 第1回協議会を終了させていただきます。皆様のご協力によりまして、円滑に会の運営ができましたことを深く感謝申し上げます。本日はお忙しい中出席いただき、誠にありがとうございました。